

事業所名

ハートキッズ小川(放課後デイサービス)

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7 年

6 月

13 日

法人 (事業所) 理念	学校生活の反復をしながら小集団のサービスを提供します。基礎的な身辺自立や適応力を学びながら、安全に楽しく過ごすことを目指します。						
支援方針	自宅や学校以外で子どもが安心、安全に過ごせる第三の居場所を作ります。個々の障害特性を踏まえて一人一人にあった目標設定をしチーム支援をおこないます。地域社会で生活していくために必要な人間関係のスキル・マナー・ルールを学ぶ中で“社会性”を意識した集団でのプログラムを提供しながら成長を促していきます。						
営業時間	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康状態の維持・改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的生活スキルの獲得(食事・整容・排泄・着脱等) 毎日の健康管理と手洗いうがい等の予防ケアを実施し、身だしなみの確認をおこないます。 食事や排泄などの基本的な生活リズムを身につけられるように時間での声掛けや誘導をおこないます。 活動の“始まり”と“終わり”を明確にし、見通しを持って行動に移せるよう支援していきます。 調理やおやつ作りを通して食事の幅を広げられるよう食育に取り組みます。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>●姿勢保持と運動、動作の基本的技能の向上、身体の移動能力の向上、感覚の特性への対応等 ダンスや手遊び等の模倣運動でリズム感・身体表現の発達を促し、道具を使った運動療育で体力・体幹・筋力・バランス能力の向上を促します。 粗大運動：体操、マット運動、平均台運動、リズム遊び、サークル運動、バランスボールなどで体力や体幹、筋力、バランス能力の向上を促します。 微細運動：折り紙、創作、ぬりえ、調理、ワーク教材などの活動を通して手先の巧緻性の向上や感覚の発達を促します。 感覚過敏性を持つ子どもへ配慮した環境を整え、感覚の特性に合わせた支援を行います。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ホワイトボードや絵カード等の視覚支援ツールを用いて日付や曜日、タイムスケジュールを確認し、見通しを持って自発的に行動することができるよう支援していきます。 感性形成を促すために創作活動や外出などで五感を刺激したり、季節の変化を感じられる活動を取り入れていきます。 一人一人の障害特性に配慮し、こだわりの緩和を目指した支援をおこないます。 ワーク教材を使用したビジュアルトレーニングを提供します。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語の受容と表出、コミュニケーション手段の選択と活用 言語表出が可能な子どもは2語文・3語文の習得を目指し、言語でのコミュニケーションの力を育てていきます。 非言語コミュニケーションとして、必要に応じて絵カードや文字、マカトンサインや身振りなどを使い子どもからの表出を促していきます。 子どもたちが状況に応じて適切に反応できるよう職員が介入しながら他者とのコミュニケーションの楽しさを経験できるよう支援していきます。 子ども自身が選択する環境を作り、自分の気持ちを相手に伝えられる機会を作っています。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他者との関わり(人間関係)の形成、遊びを通じた社会性の発達、仲間づくりと集団への参加 集団生活の中で順番を待つ、役割分担やルールの理解、他者と協力して活動し他人と関わる楽しさを経験できる活動を提供していきます。 自由時間において、おもちゃで遊んだり、ごっこ遊びをしたり、すごろくやカルタ等のゲームをして異年齢での交流の場を提供していきます。 物の貸し借りや力加減・距離感からくるトラブル等に支援員が間に入り適切なやりとりやマナー、声の大きさや振る舞い等対人関係上必要なスキルが身に付くよう支援していきます。 外出活動や地域行事への参加を通じて、社会的な役割と集団行動の経験を重ね、社会性の向上を目指します。</li> </ul>					
家族支援		送迎時や連絡帳など日々のかかわりの中で、児童の発達状況、支援内容、家庭支援、集団生活、きょうだい児、制度等、家庭内での困りごと等の聞き取りをおこない、家族のニーズに応じた相談援助、必要に応じて面談を設定しています。	移行支援	おこなっていません。			
地域支援・地域連携		必要に応じて利用者が併用している事業所や相談支援員、学校や医療機関との情報共有をおこない、連携を図っています。	職員の質の向上	事業所内研修(初任時研修、BCP研修、感染症対策研修、虐待防止・身体拘束研修など)、療育・制度・5領域等にかかる読み合わせ等を実施。支援会議、職員ミーティングにおいて発達障害への理解を深め、共通認識のもと支援に臨めるよう取り組んでいます。			
主な行事等		避難訓練(半年に1回、年に2回以上)、お誕生日会、季節の行事(初詣、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など)、水遊び(夏季)、調理(昼食作り、おやつ作り)、お買い物体験、外食体験、外出活動(公園、プラネタリウム、科学館や立川防災館など)					